

## 第 27 回議会報告会 報告書

地 域 名	口大屋地域		
年 月 日	令和 7 年 4 月 23 日 (水)	会 場 名	口大屋高齢者コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参 加 数	男性 10 人	女性 0 人	合計 10 人
班 長	石本 毅	司 会 者	石本 毅
報 告 者	全員	書 記	北山 愛
班 員 名	石本 毅、北山 愛、西垣 司、谷垣 満		
	市 民	対 応	
報告 対 する 質 疑	<p>① 八鹿病院組合議会報告で看護師の不足による入院患者数の減とある。収支の悪化は看護師不足が要因なのか。適正な人数の看護師が確保できれば入院患者数も収益も増えると思うが、何かの理由で退職者が多いのか募集しても来ないのか。安心して医療を受けられる体制を確保して欲しい。</p> <p>② 今後八鹿病院の運営をどのようにしていくのか。認知症対策にPET-CTを導入したが病院収益の増加につながるのか。医師・看護師の増加も見込めない中で、急性期・慢性期・地域医療を今後も維持していけると考えているのか。</p> <p>③ 病院は薬をたくさん出してくるが、高額なものもあり無駄になっている。介護士などが訪問した際にそのような実態を確認できるのではないかと感じるがどうか。病院の利益の為にたくさん出しているのではないかと不審に思う。</p>	<p>① 看護師不足は、入院患者の受入体制の確保や、老人保健施設・訪問看護事業にも影響があることから収益にも関係している。働き方改革や医師不足により必要な看護師数が増えていることもある。夜勤などを理由にした看護師の退職も増えており、募集しても応募が少なく確保できない現状にある。看護専門学校の生徒数も減少しており厳しい現状にある。議会も県に対して意見書を提出するなど看護師確保に努めている。</p> <p>② 現院長は認知症の専門でもあり、PET-CTは、がんの早期発見にも寄与することから導入した。高額な投資でもあり収益増加につなげる必要がある。公立病院の収支改善と維持存続は全国的な課題でもあり、議会も意見書を通じて県に医師確保の支援を求め、県の担当課と意見交換も行い病院の存続にむけて努めている。</p> <p>③ 医師は必要な分量を処方されていると思うが、多く余る実態があることはご意見としてお聞きする。医療費の増加が負担増につながることはごもっともであり、市も社会的処方への推進や毎日元気にクラス等を通じて健康加齢の延伸と医療費の抑制に努めている。若い世代も含めて健康維持に努め、医療費を削減していくことが必要であると考えている。</p>	

市 民	対 応
<p>④ 地域自治組織の今後の活動を検討しているが、重点加算事業はアイデアを出さないと使えないことから難題であると感じている。他の自治組織でどのような事業を行っているのか共有する機会が必要だと思う。好例も失敗例も共有し集積していく事で、市独自の自治組織のあり方や方向性が見えてくるのではないか。他市町の情報も含めて、様々な媒体を通じて公開して欲しい。</p> <p>⑤ デジタルクーポンは大手の食料品スーパーでは利用できない。また、使える店舗が少ないと言う声を聴く。そのような要望はないのか。高齢者の利用実績などの検証はされているのか。食料品スーパーでも使えるように要望したい。</p> <p>⑥ 有機農業に限らないが農業に対する補助が少ないと感じる。山田の小規模な農地では大きな機械も入らず非効率なことから、農業はやりたいが収支が合わず続けられない現状がある。食料自給率を上げることは国の根幹であり農業を続けられるようにするべきではないか。</p> <p>⑦ 夏梅地区でも高齢化で農業の担い手が減少している一方で、地元の精米所の若者達が田で作業している風景を見ると心強く感じる。若者が農業に関わる仕組みや、参入意欲が持てる土台を作ることが担い手確保につながるのではないか。</p>	<p>④ 地域自治組織間のつながりの強化や情報共有は重要であると認識している。各自治組織で取組んだ事業を、統括的な立場である人権・協働課が結果や評価をまとめ、アイデアブックのような形で共有することは有効であると感じる。また各自治組織がSNS等で情報を提供したり簡単に公表できる仕組みが必要と感じる。ご意見を参考にしたい。行政職員が自治組織を応援する地域担当チームも条例に明記されている。議会も連携して協力していきたい。</p> <p>⑤ 利用率は100%に近い実績であった。同様の意見は過去からあり、議会でも取り上げられている。当局としては地域の商工振興に重きを置いていることから、市内に本社・本店のある事業所を対象としているが、利用される店舗の偏りもあり、範囲の拡大については検証・検討の課題であると認識している。ご意見としてお聞きし今後の参考にしたい。</p> <p>⑥ 市も営農面積の拡大が条件にはなるが、農業機械の購入補助制度等を設けて農業者の支援に取り組んでいる。地形的に畔が高く草刈りの労力が大きいことで不効率なことは認識しており、畔刈りの公共事業化を提案したこともある。農業・農地の保全是治山・防災面でも重要であることから多面的な視点で農業の維持を考えていきたい。</p> <p>⑦ 若手農業者や事業所が農業や農地の維持に取り組まれることは有難いことである。地産地消の仕組みも必要であり、今後も若者が農業に携われるような環境の実現に努めていきたい。また、水稲だけでなく野菜も合わせた複合経営で収支を合わせていくことも一案である。持続可能な農業の実現に資する収支改善の支援に取り組んでいきたい。</p>

報告に対する質疑

市 民		対 応
その他 (提言など)	<p>① 子供が希望を持てるような取組を考えて欲しい。子供に人気のあるスポーツができる施設など、市外からも子供や子育て世代が集まるような仕組みが必要ではないか。今は集まってもスマホやゲームを見ているだけで自身の子供時代とは大きく違っている。子供への手当の充実だけではなく、子供が安心して遊べる施設や希望が持てることが必要だと感じている。</p> <p>② 農業用水路のことや堰堤のことなど各区からも要望書も上がっていると思う。口大屋においても地形的な条件からくる防災面での不安や、山間地農業の地域的な苦勞もある。予算の制限や公平性の視点も重要だが、地域へ目を向けて頂き多様な産業や職種への支援をお願いしたい。</p>	<p>① 子育て世代からも同様の意見を聞いており、市内に遊べる施設がなく市外に出向いている現状もあることから、議会でも取り上げている。関宮小さな拠点整備の計画では、雨天に遊べる屋内施設が計画されている。スケートボードパークの要望などもあり、市外からも子育て世代が集まる施設や、子供が夢を持てる施設や居場所は必要だと考えている。</p> <p>② ご意見としてお聞きし今後の参考にする。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年5月19日

報告者  2班   班長 石本 毅